

2017ふゆトピア・フェア in 函館

GUIDE BOOK

開催日 2017.1/26 **木**・27 **金**

開催場所 **北海道 函館市**
● 函館市市民会館 (湯川町1丁目32番1号)
● 函館アリーナ (湯川町1丁目32番2号)
● 函館競馬場 駐車場 (深堀町21番19号)

**入場
無料**

函館に集う ヒト・モノ・技術から 北の暮らしのイノベーション

Contents

オープニングセレモニー 1/26(木) 9:30--10:00
(会場 函館アリーナ メインアリーナ)

ふゆトピアシンポジウム 1/26(木) 14:00--17:00
(会場 函館市市民会館 大ホール)

ふゆトピア研究発表会 1/27(金) 9:30--16:00
(会場 函館市市民会館 小ホール、大会議室、小ホール前展示室)

ふゆトピア展示会 1/26(木) 10:00--17:00
(会場 函館アリーナ メインアリーナ) 1/27(金) 10:00--15:00

除雪機械展示・実演会、競技会 【除雪機械展示・実演会】
(会場 函館競馬場 駐車場) 1/26(木) 10:00--16:00
1/27(金) 10:00--15:00
【競技会】
1/26(木) 13:00--16:00

ふゆトピア交流会 1/26(木) 17:30--19:00
(会場 函館 湯の川温泉 花びしホテル(有料))

2017ふゆトピア・フェアin函館

開催テーマ 2017Fuyutopia in HAKODATE

函館に集う ヒト・モノ・技術から 北の暮らしのイノベーション

北海道新幹線開業から初めての冬を迎え、北海道と本州との広域交流の更なる促進が期待されます。多様な雪国同士のヒト・モノ・技術の交流と連携が、イノベーションを促し、冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興や地域活性化に資することを目指し、「函館に集う ヒト・モノ・技術から 北の暮らしのイノベーション」をテーマとしました。

開催にあたって 2017Fuyutopia in HAKODATE

「2017ふゆトピア・フェアin函館」では、国、地方公共団体、住民、NPO、企業など様々な方々が参加し、北国のふゆの課題の克服、ふゆを活かした地域づくりに関するハード・ソフト両面にわたる技術や取組について、情報発信や意見交換を行うことを通じて、北国における各主体の活動及び相互の連携の発展・拡大に寄与し、地域の活性化や魅力あるまちづくりの実現を目指し、開催します。

2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会一同

開催概要 2017Fuyutopia in HAKODATE

開催内容	開催場所	開催日時
オープニングセレモニー	函館アリーナ メインアリーナ	1月26日(木) 9:30~10:00
ふゆトピアシンポジウム	函館市民会館 大ホール	1月26日(木) 14:00~17:00
ふゆトピア研究発表会	函館市民会館 小ホール、 大会議室、小ホール前展示室	1月27日(金) 9:30~16:00
ふゆトピア展示会	函館アリーナメインアリーナ	1月26日(木) 10:00~17:00 1月27日(金) 10:00~15:00
除雪機械展示・実演会	函館競馬場 駐車場	1月26日(木) 10:00~16:00 1月27日(金) 10:00~15:00
競技会 (第3回除雪車チャンピオンシップ)	函館競馬場 駐車場	1月26日(木) 13:00~16:00
ふゆトピア交流会	函館 湯の川温泉 花びしホテル(有料)	1月26日(木) 17:30~19:00

スケジュール 2017Fuyutopia in HAKODATE

	平成29年1月26日(木)	平成29年1月27日(金)
オープニングセレモニー	9:30~10:00	
ふゆトピアシンポジウム	14:00~17:00	
ふゆトピア研究発表会		9:30~16:00
ふゆトピア展示会	10:00~17:00	10:00~15:00
除雪機械展示・実演会	10:00~16:00	10:00~15:00
競技会(第3回除雪車チャンピオンシップ)	13:00~16:00	
ふゆトピア交流会	17:30~19:00	

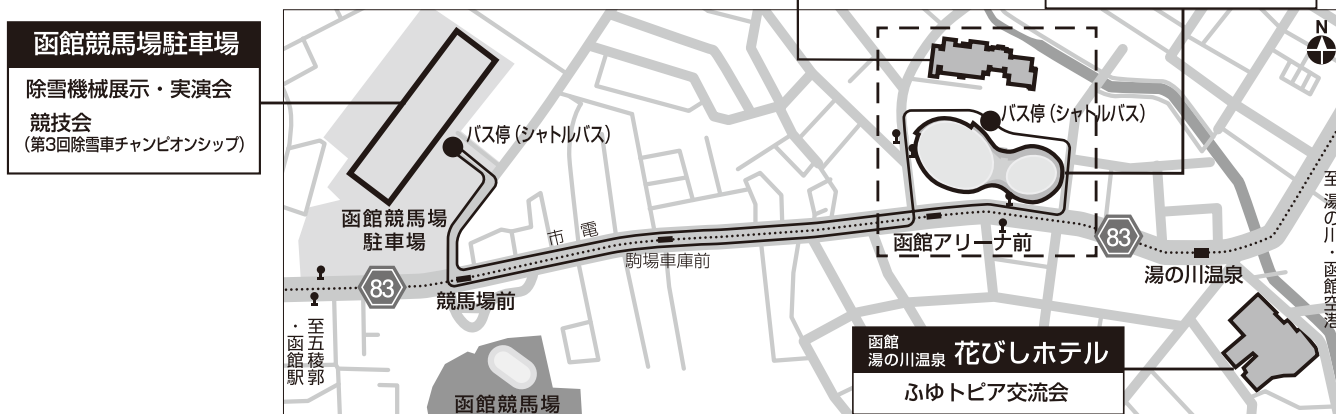
2017 Fuyutopia in HAKODATE

会場案内図

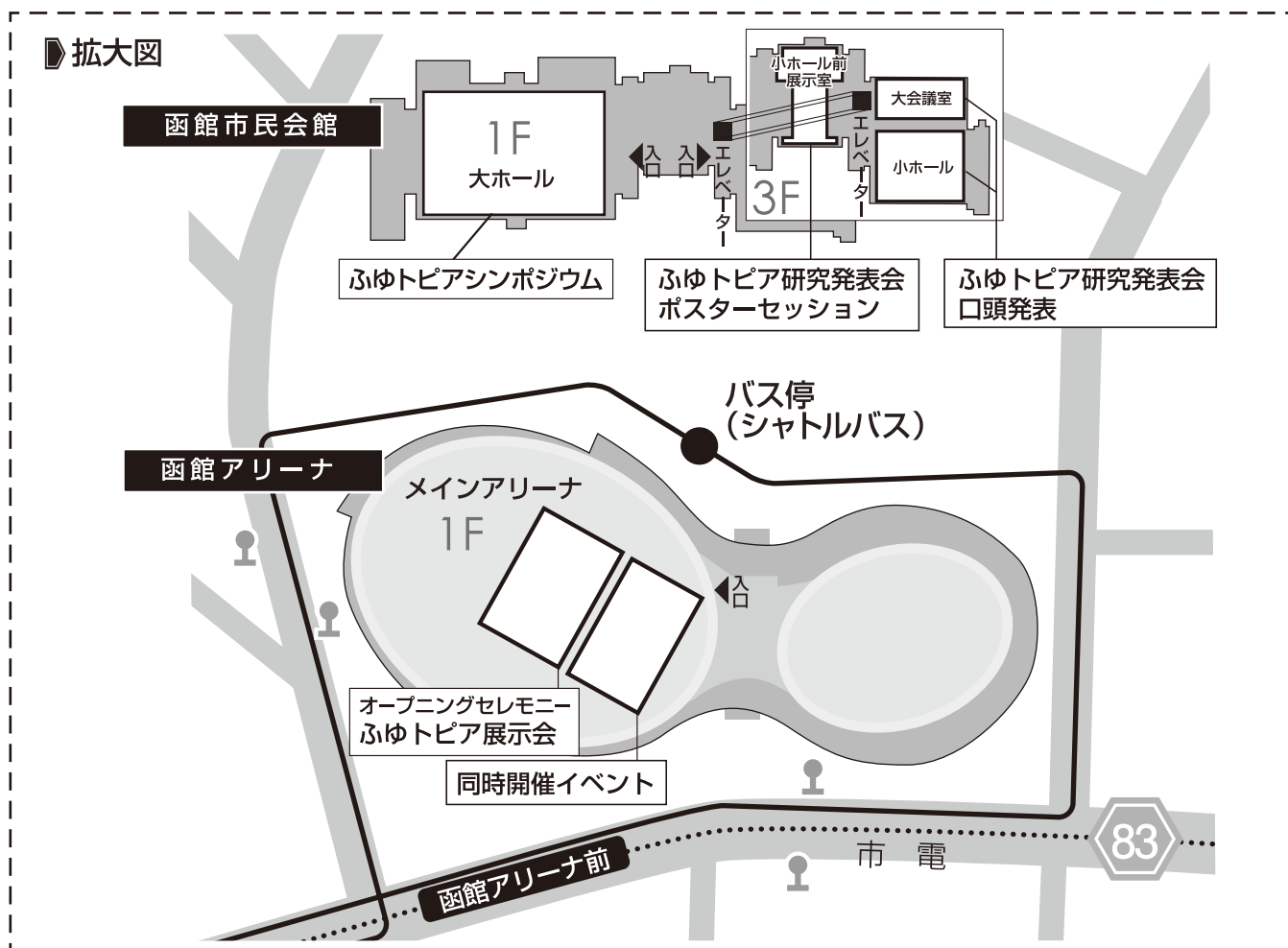
2017Fuyutopia in HAKODATE

全体図

会場間シャトルバスは15分間隔で運行
(10:00~16:00(2日目は15:00))



拡大図



ふゆトピアシンポジウム

概要

Outline

◆ テーマ 世界に目を向けた北国の観光

近年、観光の重要性はますます高まっており、「地方創生」の切り札、成長戦略の柱として、我が国の基幹産業に成長させるべく、国を挙げて様々な取組が進められています。

北海道には豊富な観光資源とそれに裏打ちされたブランド力があります。第8期北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)では、世界水準の観光地域づくりが重要と位置付けられ、国内外の人々を引きつける地域となるよう様々な取組を戦略的に展開することが必要です。

積雪寒冷地帯である北海道・東北・北陸は、共に観光面等における冬の積極的な活用と魅力の発信等をふゆトピア・フェア(ゆきみらい)等を通じて連携し進めてきたところです。また、これらの地域は、古くは縄文時代から交流・交易を始め、近世江戸時代には北前船による交流・交易が盛んであり、歴史的にもつながりが深い地域です。

ふゆトピアフェアの開催地である函館は、年間500万人が訪れる観光都市です。市区町村の魅力的な都市として常に上位にランキングし、平成21、26、27年には日本で最も魅力的な都市に選ばれ、異国情緒あふれる街並みなどが観光客の人気を集めています。平成28年3月には北海道新幹線が開業し、今後も交流の要としてさらなる東北・北陸とのつながりを深め、広域交流の活発化が期待されます。

この函館において、北海道・東北・北陸のこれまでの交流の歴史を振り返りながら、世界に目を向けた観光地域づくりにあたり、積雪寒冷地という共通の条件を持つ北海道・東北・北陸の各地域が、「ふゆ」の資源を活かした魅力のある観光地域づくりや、どのように連携・交流していくことが必要なのか考えたいと思います。

◆ 開催日 平成29年1月26日(木) 14:00～17:00(開場 13:00)

◆ 会場 函館市民会館 大ホール (1階)

◆ プログラム

時 間	内 容
13:00	開場
14:00～14:15	開会
14:15～15:15	基調講演 「大人の好奇心を満たす旅へ～青函新時代に切り込む“旅人類”～」
15:15～15:30	休憩
15:30～17:00	パネルディスカッション 「世界に目を向けた観光地域づくりにあたっての北海道・東北・北陸の魅力ある地域づくり、連携・交流を考える」
17:00	閉会

基調講演

Keynote speech

◆ テーマ 大人の好奇心を満たす旅へ～青函新時代に切り込む“旅人類”～

◆ プロフィール



講 師

吉田 類 氏

高知県出身。イラストレーター、エッセイスト、俳人。酒場文化や旅をテーマに執筆活動を続けている。北海道を愛し、長期滞在する傍ら、自身が責任編集を務める大人の旅ガイド『旅人類』(企画：㈱ドーコン)で、各地域の魅力を紹介している。酒場を求めて街をぶらつくBS-TBS『吉田類の酒場放浪記』は放送から13年目を迎える人気番組。NHK ラジオ深夜便『ないとガイド～酒で綴るにつぼんの旅』(月1回放送)、北海道新聞連載エッセイなど多くのメディアで活躍中。著書は中公新書『酒場詩人の流儀』他多数。

パネルディスカッション

Panel discussion

テーマ

世界に目を向けた観光地域づくりにあたっての 北海道・東北・北陸の魅力ある地域づくり、連携・交流を考える

プロフィール



コーディネーター

奥平 理氏

函館工業高等専門学校
一般人文系 教授

函館市出身。広島大学大学院修了。北海道函館中部高等学校教諭、函館工業高等専門学校准教授を経て、2016年より現職。専門分野は都市地理学(港湾・観光)。函館開発建設部管内協働型道路マネジメント会議委員長や函館市観光アドバイザー会議委員長などの公職をつとめるほか、函館においてまちあるきガイドの育成にも携わっている。



パネリスト

阿部 千春氏

北海道縄文世界遺産推進室
特別研究員

立正大学文学部史学科(考古学専攻)卒。北海道埋蔵文化財センター等に勤務。2011年函館市縄文文化交流センター館長を経て現職。縄文遺跡群の世界遺産登録推進をはじめ、歴史・文化を活用した観光振興やまちづくりなど文化遺産のネットワークづくりに取り組んでいる。



パネリスト

角田 周氏

津軽地吹雪会代表

日本大学芸術学部音楽科卒業後、音楽事務所に就職。帰郷し1987年に企画集団「ラプリー金木」を設立。1988年雪国地吹雪体験ツアーを企画し、注目を集める。その後もワールド青函トンネルウォーク、津軽半島観光ネットワークなど地域観光に携わり、2003年には観光カリスマに認定。



パネリスト

桑島 繁行氏

知床北こぶしグループ(株)知床グランドホテル
/(株)知床プリンスホテル 代表取締役社長

平成5年知床グランドホテル、平成25年知床プリンスホテル代表取締役社長に就任。平成16年から21年には、オホーツク観光連盟会長として、地域の観光振興に尽力。また、(一社)日本旅館協会北海道支部連合会会長、(公社)北海道観光振興機構副会長などを歴任し、現在(一社)日本旅館協会本部監事。



パネリスト

小林 昌子氏

南魚沼市女子力観光プロモーション
チーム設立者・初代リーダー

観光バスガイド25年の経験を活かし2010年に南魚沼市女子力観光プロモーションチームを設立。初代リーダーを務め、現在はチームのアドバイザー。女性目線から「雪国の宝」を発掘し発信しながら、雪国文化を観光や学校の授業に活用し、観光関連事業への提案をするなど地域の人材育成・文化伝承に尽力。



パネリスト

津山 睦氏

道の駅みそぎの郷きこない
観光コンシェルジュ

北海道木古内町生まれ。大学進学を機に上京し、そのまま都内で就職。2012年木古内町にUターン。北海道新幹線木古内駅開業をきっかけに、道南の広域観光、青函の女性たちでつくる「津軽海峡マグロ女子会」に参加。現在「道の駅みそぎの郷きこない」で観光振興に携わる。

ふゆトピア研究発表会

概要

Outline

函館市民会館の小ホール・大会議室・展示室にてふゆトピア研究発表会を実施します。

本研究発表会では、北国、とりわけ冬期における安全・安心な生活を守るため、また、北国の観光を発展させるため、施設管理者の日頃の取組や、様々なインフラ整備及び維持管理について情報交換を行います。

📅 **開催日** 平成29年1月27日(金) 9:30 ~ 16:00

📍 **会場** 函館市民会館 小ホール・大会議室・展示室 [入場無料]

📄 **論文セッションテーマ**

特定テーマ 冬期に生じる災害の支援・復旧

(キーワード) 災害(地震、地滑り、噴火、大雪、吹雪、雪崩、高潮等)、災害対策基本法(放置自動車)、通行止め、除雪、雪氷予測、情報提供、関係機関連携、タイムライン、被災者支援、復旧等

セッション1 冬期のインフラ管理とICT、官民連携

(キーワード) ICT、i-Construction、新技術、コスト、縮減、効率化、メンテナンス、冬期路面管理(凍結防止剤散布、除排雪作業)、視程障害予測技術、吹雪対策、雪氷対策、事故対策、雪崩対策、結氷・流氷対策、融雪、融雪出水、除雪機械の性能向上、除雪業者の疲弊(人口減少、高齢化、技術の伝承等)、雪氷予測、官民協働、住民参加、克雪、冬期VSP、民間ボランティア、地域防災力、凍害・複合劣化 等

セッション2 地域性を活かした冬期観光

(キーワード) 冬期観光、利雪・親雪、雪国文化、流氷、情報発信、インバウンド、北海道新幹線、地方創生、地域活性 等

スケジュール

Schedule

時 間	論文口頭発表 第1会場(小ホール)	論文口頭発表 第2会場(大会議室)	ポスターセッション (小ホール前展示室)
09:00~09:30	開 場 ・ 受 付		
09:30~09:40	開会挨拶		
09:45~10:00	特定テーマ 冬期に生じる災害の支援・復旧 NEXCO 中日本金沢支社における 雪に起因する通行止めゼロに向けた取組 中日本高速道路(株) 金沢支社保全・サービス事業部 企画統括チーム 柳澤 敏彦/宮地 謙介/辻岡 雷太	セッション1 「官民協働・情報提供・その他」 豪雪頻度の高まりに対する地域の対応と ボランティアの活用 (一社)北海道開発技術センター/カナン地質(株) 中前 千佳/中前 茂之/大川戸 貴浩	
10:00~10:15	冬期間の給水支援に係わる 散水車の凍結防止について 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 施設整備課 浅野 真周/千葉 隆宏	過疎・高齢化時代における流雪溝の課題克服への 取組事例～ 除雪ボランティアの活用への期待～ 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課/(他2社) 原田 小雪/西 大志/野呂 美紗子	ポスターセッションスケジュール 10:00-11:30 展示のみ 11:30-13:30 担当者説明(コアタイム) 13:30-15:00 展示のみ
10:15~10:30	海氷による高波時の波浪低減効果と 波の遡上特性 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム 本間 大輔	車両情報位置システムを用いた雪氷車両位置情報の提供 中日本高速道路(株)金沢支社 保全・サービス事業部 保全チーム 中日本I/A/E/インフラ/名古屋株式会社 施設技術部 施設技術課 坂 宗樹/木原 晃/松本 剛明	
10:30~10:45	富山県南砺市で発生した雪崩災害について ～雪崩による被災状況と災害復旧、再度災害防止対策について～ 富山県富山土木センター 道路施設課/富山県富山港事務所(前同センター) 名畑 博文/石橋 克彦	小学生を対象とした「札幌雪学習/ 雪体験授業」の実施について 札幌市 建設局 土木部 雪対策室 事業課 及川 公志	
10:45~10:55	休 憩 (1 0 分)		



時 間	論文口頭発表 第1会場(小ホール)	論文口頭発表 第2会場(大会議室)	ポスターセッション (小ホール前展示室)
10:55～11:10	特定テーマ(冬期)に生じる災害の支援・復旧 冬季除雪支援におけるレーダ技術の活用に関する一考察 Xバンドレーダによる雪検知性能と活用案について 国土交通省 国土技術政策総合研究所／関東地方整備局 企画部 今長 信浩／齋藤 清志／大手 方如／石井 洋輔／片岡 正次郎	セッションⅠ 【冬期路面管理・効率化】 車載式塩分濃度測定車による凍結防止剤散布状況の解析 中日本高速道路(株) 金沢支社 保全・サービス事業部 保全チーム 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋株式会社 道路技術部 米本 浩也／草野 智之／関 真由子	合流式下水管を利用した下水熱融雪システムの熱解析結果 株式会社 興和 水工部 小酒 欽弥／藤野 丈志／岡本 信寛
11:10～11:25	無線式簡易振動センサネットワークによる検知及び通信に関する検討 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 藤浪 武史／阿部 孝章／船木 淳悟	近赤外線およびマイクロ波を用いた路面状態評価について 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 北見工業大学／北見工業大学大学院 中島 知幸／高橋 尚人／館山 一孝／高瀬 雄麻／星野 聖太	消雪井戸を再利用した地中熱ヒートポンプ融雪システムの有効性 株式会社 興和 水工部／新潟県十日町地域振興局 藤野 丈志／坂東 和郎／桑原 賢二 荒井 輝行
11:25～11:40	2015年度効率的・効果的な雪氷対策作業の実施評価と今期に向けた取組みについて 中日本高速道路(株) 名古屋支社 保全・サービス事業部 保全チーム 北川 真史	2016年1月24日～25日における新潟県中越地方での大雪と交通障害リスク 一般財団法人 日本気象協会／本田技研工業(株) 丹治 和博／野村 茂行／福嶋 寛明／益田 卓朗	レーザーキャナによる冬期の道路有効幅員計測 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地機械技術チーム 住田 則行／佐藤 信吾
11:40～11:55	あられセンサーの開発について 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋(株) 金沢支店 桶野 誠／竹中 将雄	凍結防止剤散布作業の最適化をめざしてー地域特性を考慮した濃度管理図式行ー 山田技研(株) 営業・企画開発／(他3社) 酢谷 浩／阿部 公一／氏原 安美／内川 真	狭い道路用地内でも設置可能で且つ防雪効果が持続する吹き止め柵の性能について(DC フェンス2040) (株)ノースプラン 企画開発部 佐藤 主章
11:55～12:10	独自観測インフラを用いた気象現象の把握と道路利用者向け情報発信 (株)ウェザーニュース 有賀 哲夫／戸部 明／飯田 和雄／吉本 享／川畑 貴義／中山 桃子	適切な道路雪氷情報を利用した道路管理経費削減へのチャレンジ 山田技研(株) 技術営業 山田 忠幸／中山 隆之／村園 誠	寒さを活かした緑化技術の諸事例 (一社)北海道開発技術センター 斎藤 新一郎
12:10～12:50	昼 食 ・ 休 憩		
12:50～13:05	セッションⅠ 【雪崩対策・吹雪対策】 雪崩対策施設の損傷と維持管理のための点検の着眼点 国立研究開発法人 土木研究所 雪崩・地すべり 研究センター 松下 拓樹／石田 孝司／金澤 瑛	セッションⅡ 【地域性を活かした冬期観光／その他】 凍結防止剤散布作業判断支援技術の構築に関する研究 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 徳永 ロベルト／佐藤 賢治／中島 知幸 藤本 明宏／高橋 尚人／石田 樹	新しい非塩化物系凍結防止剤の融氷特性と植物に対する害に関する研究 (国研)土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム／富山県立大学 佐藤 賢治／藤本 明宏／中島 知幸／徳永 ロベルト／高橋 尚人／石田 樹 中島 範行
13:05～13:20	XバンドMPレーダデータを用いた吹雪検知の可能性 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 北海道大学 工学研究院 大宮 哲／國分 徹哉／松澤 勝／山田 朋人	旭川冬まつりと連携した、除雪イベント等による観光振興 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 旭川道路事務所 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 道路整備保全課 三浦 篤／阿部 浩一／長内 正宏	路面雪氷状態予測結果を用いた冬期交通事故分析手法の基礎的検討 (国研)土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 齊田 光／平澤 匡介／高橋 尚人／石田 樹
13:20～13:35	雪崩検知システムの有効性について (株)興和 大川 滋／藤野 丈志／栗林 健	秋田県の道路管理と観光地対策について ～冬期閉鎖路線における春山除雪の事例紹介～ 秋田県 建設部 道路課 道路環境・維持班 乳根 達夫	防雪盛土の路側雪堤が吹きだまり形成に及ぼす影響 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 小中 隆範／伊東 靖彦／松澤 勝／武知 洋太
13:35～13:50	近年の暴風雪頻発地域にみる防雪柵の問題点と課題 (一社)北海道開発技術センター (国研)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター／NPO法人 雪氷ネットワーク 金田 安弘／永田 泰浩／根本 征樹／竹内 政夫	秋田県北地域の冬期観光における地域展開について 国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 川村 綾／坂 憲浩／渡辺 信悦	吹雪視程予測情報による行動判断支援について 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 國分 徹哉／原田 裕介／武知 洋太／大宮 哲／西村 敦司／松澤 勝
13:50～14:05	切土のり面コンクリートブロック積擁壁部 落雪防止対策について (株)ネクスコ・メンテナンス東北 横手事業所 荒木 洸太	簡易円測定器(スタンパー)による凍上段差の管理手法について 東日本高速道路(株) 北海道支社 室蘭管理事務所 (株)ネクスコ・エンジニアリング 北海道 室蘭道路事務所 中嶋 健壮／安達 和宏	防雪柵前後の吹きだまりに関する現地観測 寒地土木研究所 寒地土木研究所 函館開発建設部 道北支所 雪氷チーム 江差道路事務所 金子 学 松澤 勝 渡邊 崇史
14:05～14:15	休 憩 (1 0 分)		
14:15～14:30	セッションⅠ 【冬期路面管理・効率化・その他】 徳島自動車道鳴門JCT ～徳島ICにおける路温特性 一般財団法人 日本気象協会／西日本高速道路株式会社 四国支社 石川 明弘／横田 淳／足立 憲次／四宮 敬介／大本 英輝	セッションⅡ 【ICT・除雪機械】 スマートデバイスを活用した除雪機械整備効率化の有効性について 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所第2工務課 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 施設整備課 石道 国弘／吉田 公明／林 朋幸／五十嵐 匡	北海道東部における道路防雪林の幹折れ要因について (一社)北海道開発技術センター 阿部 正明／斎藤 新一郎／金田 安弘
14:30～14:45	凍結防止目的の塩散布量最適化システム開発におけるIoTの活用 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋(株)／(他3社) 森山 守／山田 圭一／岩谷 一郎／道上 剛幸／藤中 伸紀／澤 英知 徳永 純一／柿澤 至倫／藤田 勝貴／鈴木 武俊／大塚 洋／石原 啓	ICTを活用した雪氷車両故障対応の更なる効率的な取組みについて (株)ネクスコ・メンテナンス東北 十和田事業所 岩淵 太郎／伊藤 和明	路面状態を元にした雪氷路面管理水準の検討 (株)ウェザーニュース 東日本高速道路(株) 道路気象コンテンツサービスチーム 新潟支社保全課 吉本 享／後藤 研 伊藤 淳之介
14:45～15:00	凍結防止剤最適自動散布システムによる冬期路面管理について (株)ネクスコ・エンジニアリング 北海道／(株)ネクスコ・メテオス 北海道 東日本高速道路(株)大宮 智則／高倉 清／斎藤 孝志	NEXCO東日本グループの安全な冬期交通のための技術革新ーICTを活用した雪氷対策の高度化技術の開発・活用ー 東日本高速道路(株) 建設・技術本部 技術・環境部 雪氷対策高度化チーム 皆方 忠雄／多田 暢彦／廣田 貴之／佐藤 征行	気象条件が融雪運転時間へ与える影響について (株)ネクスコ・エンジニアリング 東北 交通システム部 山田技研(株) 菅原 和久 山田 忠幸／酢谷 浩／徳永 透
15:00～15:15	プローブデータを活用した冬期交通確保の検討について 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 雪害対策官／雪害防災減災課／雪害防災減災課 久保 光晶／渡邊 俊彦／今井 ひとみ	一人乗り除雪グレーダ導入における検討 国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 伊藤 秀樹／中島 朋也／金野 貴洋／稲葉 護	ポスターセッションスケジュール 10:00-11:30 展示のみ 11:30-13:30 担当者説明(コアタイム) 13:30-15:00 展示のみ
15:15～15:30	防雪林の防雪機能調査に関する風洞実験 土木研究所 寒地土木研究所 寒地機械技術チーム 技術開発調整監 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部(前内地:寒地土研) 幸田 勝／山崎 貴志／住田 則行／太田 広	除雪機械の老朽化の現状と見える化の試行 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 大上 哲也／木下 豪／小笠原 敦司	
15:30～15:45	地震津波で発生する結氷・流水の河川瀬上について 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 北見工業大学 社会環境工学科 阿部 孝章／吉川 泰弘／矢部 浩規	透明ヒーターを活用したWEBカメラ着雪対策の実地検証報告 (株)ネクスコ・エンジニアリング 北海道／ジオマテック(株) 森 雅則／大廣 智則／小林 智宏	
15:45～16:00	総 評 ・ 閉 会 挨 拶		

ふゆトピア展示会

概要

Outline

ふゆトピア展示会は、冬期における生活環境や防災力の向上、観光振興や地域活性化のために必要な積雪寒冷対策技術や情報などを企業・団体・行政のブース展示により紹介し、北国の克雪、利雪、親雪に関する取組などを情報発信します。

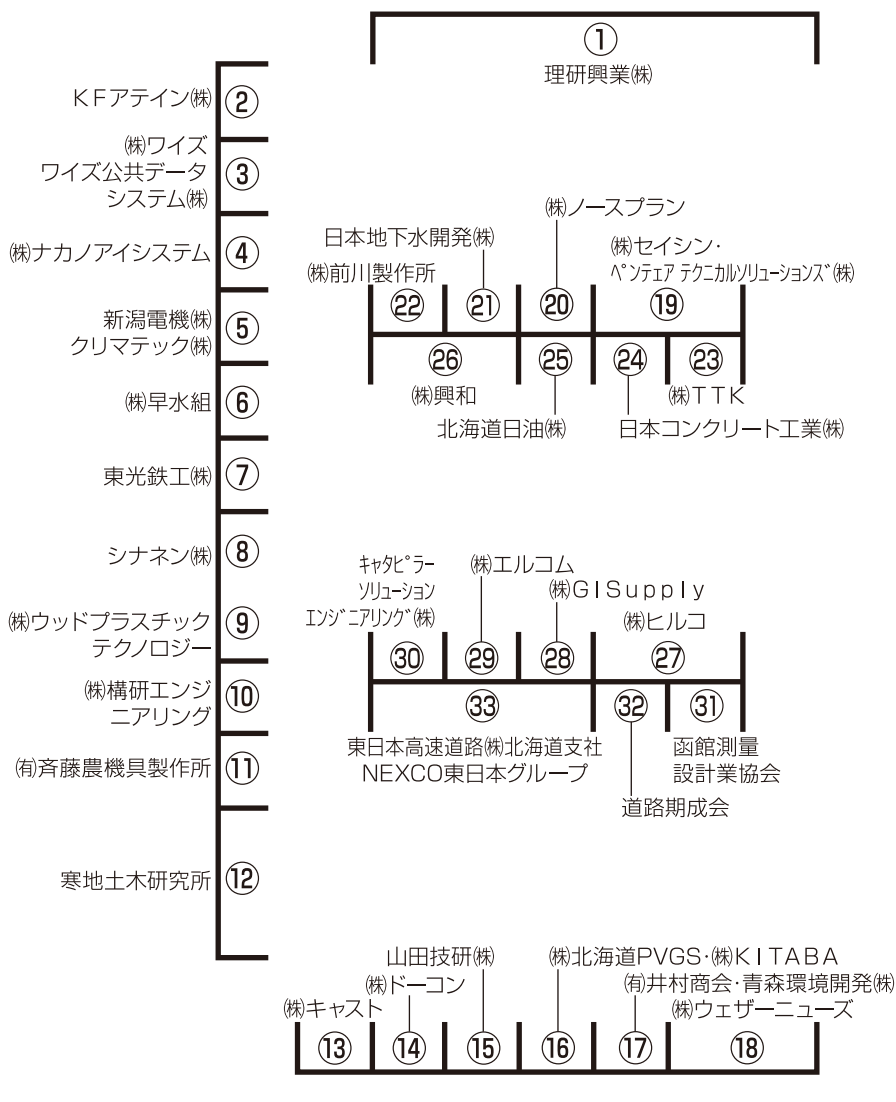
📅 **開催日** 平成29年1月26日(木) 10:00~17:00、27日(金) 10:00~15:00

📍 **会場** 函館アリーナ メインアリーナ [入場無料]

展示会場

Exhibition hall

- ① 理研興業(株)
- ② KFアテイン(株)
- ③ (株)ワイズ
ワイズ公共データシステム(株)
- ④ (株)ナカノアイシステム
- ⑤ 新潟電機(株)・クリマテック(株)
- ⑥ (株)早水組
- ⑦ 東光鉄工(株)
- ⑧ シナネン(株)
- ⑨ (株)ウッドプラスチックテクノロジー
- ⑩ (株)構研エンジニアリング
- ⑪ (有)斉藤農機具製作所
- ⑫ 寒地土木研究所
- ⑬ (株)キャスト
- ⑭ (株)ドーコン
- ⑮ 山田技研(株)
- ⑯ (株)北海道PVGS・(株)KITABA
- ⑰ (有)井村商会・青森環境開発(株)
- ⑱ (株)ウェザーニューズ
- ⑲ (株)セイシン・パンテア テクニカルリユージョンス(株)
- ⑳ (株)ノースブラン
- ㉑ 日本地下水開発(株)
- ㉒ (株)前川製作所
- ㉓ (株)TTK
- ㉔ 日本コンクリート工業(株)
- ㉕ 北海道日油(株)
- ㉖ (株)興和
- ㉗ (株)ヒルコ
- ㉘ (株)GISupply
- ㉙ (株)エルコム
- ㉚ キャビラーソリューションエンジニアリング(株)
- ㉛ 函館測量設計業協会
- ㉜ 道路期成会
- ㉝ 東日本高速道路(株)北海道支社
NEXCO東日本グループ





出展内容

Outline

出展企業・団体

道内、道外の33の企業、団体が出展(道内:16企業、道外:17企業)

出展技術内容

「雪対策関連技術」「舗装・道路管理・材料・機械」「住宅・建築関連技術」「情報通信技術」「生活関連技術」
「環境・エネルギー関連技術」「地域づくり・まちづくり」「気象予測関連技術」など

出展物

雪対策関連パネル・模型・カタログ
融雪関連製品、融雪システム
除雪関連製品、除雪システム
その他

1 理研興業 株式会社

住 所	北海道小樽市銭函 3 丁目 263 番地 7
T E L	0134-62-0033
F A X	0134-62-0088
担当者名	内海 博行
担当部署	技術部
E-mail	uchiumi@riken-kogyo.co.jp
U R L	http://www.riken-kogyo.co.jp

事業内容紹介

弊社は、昭和30年の創業以来、防雪・防風柵の製作専門メーカーとして、厳しい時代の荒波に柔軟な姿勢で対応し、製品の研究・開発、技術向上に、間断なく取り組み、今日まで堅実な成長を遂げることができました。

今後とも豊かな発想と創造力で社会のニーズに応え、単なる防雪柵を提供するだけではなく、自然エネルギー活用や環境にも配慮した新たな製品・技術・工法を提案し、更なる進化を求め、たゆまぬ努力で邁進致します。

防雪対策における防雪柵に関わる 新技術・新工法の開発

出展内容紹介

◆路側設置型防雪柵の紹介。凹凸状に加工した縦長の防雪板を横方向に隙間無く列設することで斜めから入射した風を下方に誘導し、高い防雪効果を発揮するとともに下部閉塞時には風上側に雪を溜めるため、道路上に吹き溜まりを生じさせません。

◆SMD視線誘導の紹介。ライン上の発光体がホワイトアウト時にドライバーへ安心感と安全サポートを提供します。



◆セミプレキャストコンクリート基礎ブロックの紹介。

2 KFアテイン株式会社

住 所	〒983-0034 宮城県仙台市泉区明通 2-2 宮城県産業技術総合センター内
T E L	022-355-2701
F A X	022-355-2702
担当者名	川又 貴仁
担当部署	代表取締役
E-mail	t-kawamata@attaingroup.co.jp
U R L	attain-wax.com

事業内容紹介

- ◆除雪重機用塗料の開発・製造・販売
- ◆重防食塗料の開発・製造・販売
- ◆屋根用塗料の開発・製造・販売
- ◆船舶用塗料添加剤の開発・製造・販売
- ◆スキー・スノーボードワックス開発・製造・販売

雪が滑る塗膜を実現した 「日本初雪滑り塗料」

出展内容紹介

着雪・着氷・積もり雪でお悩みの方が沢山いらっしゃいます。弊社商品は、そのようなお困りごとを解決できる雪滑りを付与した塗料です。塗膜表面に「滑り性」、「撥水性」を選択的に配置することで塗膜表面を平滑にし、滑り性能を持たせることに成功しました。

各自治体様の採用も多くなり、除雪車だけでなく多用途への展開も考えております。

ブースにて滑りをご体感頂ける展示も予定しております。是非、お立ち寄り下さい。



3 株式会社ワイズ・ワイズ公共データシステム株式会社

住 所	〒380-0803 長野県長野市三輪1丁目8番14号
T E L	026-266-0710
F A X	026-266-0845
担当者名	丸山 匠
担当部署	営業部
E-mail	info@wise.co.jp
U R L	http://www.wise.co.jp/

事業内容紹介

ワイズグループは、建設業界向けに施工管理ソフトの開発・販売／経営状況分析業務を行っております。

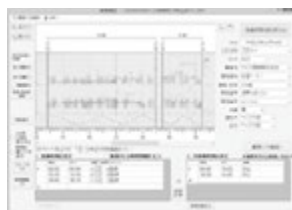
出展技術「タコグラフマネージャ」は、建設機械等のタコグラフチャート紙画像の解析、稼働時間の集計、除雪日報作成の自動化を実現。除雪業務の事務作業を最大75%削減します。

除雪日報作成を効率化
事務作業量▲75%

出展内容紹介

タコグラフマネージャ
(NETIS 登録技術HR-120020-A)
～タコグラフチャート紙/GPS
データ自動解析日報作成システム～

- ①GPS データ取込・タコグラフをデジタルスキャナーで読み取り
- ②稼働・休止時間の自動解析及び稼働路線のマッピング
- ③除雪日報及び稼働時間集計表をExcel形式で出力



※日報作成業務時間を最大75%削減。

4 株式会社ナカノアイシステム

住 所	〒950-0951 新潟県新潟市中央区鳥屋野432番地
T E L	025-284-2100
F A X	025-284-3600
担当者名	長崎 清
担当部署	総務部
E-mail	nagasaki@nais21.co.jp
U R L	http://www.nais21.co.jp

事業内容紹介

当社は公共測量と官公庁向けの地理情報システム構築を事業の柱としている会社で、本社は新潟市にあります。測量分野では各種レーザー機器等を活用し、高精度・高密度の三次元地理空間データの計測・解析等を行っております。

また、地理情報システム分野では、新潟県内でトップクラスのシェアを誇り、県外でも秋田県や八戸市、弘前市等の多くの自治体で当社のシステムが採用される等、技術力には高い評価をいただいております。

～除雪集計システム～
GPSを活用し自治体の除排雪業務を支援

出展内容紹介

除雪車にGPS端末を設置し、そこから得られた各種情報を自動的に分析・集計して、自治体の除雪業務に必要な各種帳票の作成や稼働費の算定等を行います。除雪作業の軌跡を地図上で確認できるため、作業が適正に実施されているか否かの判断や、住民からの問合せ・苦情への迅速な対応等が容易です。

更に除雪情報を公開することで住民サービスの向上にも繋がります。



除雪集計システム画面
商品イメージ

GPS端末はニーズに応じて3通りの機器から選択できます。

5 新潟電機株式会社/クリマテック株式会社

住 所	(新潟電機) 新潟県長岡市沢田1丁目3535-41 (クリマテック) 北海道札幌市東区北22条東8丁目45
T E L	(新潟電機) 0258-32-8222 (クリマテック) 011-711-9921
F A X	(新潟電機) 0258-37-0501 (クリマテック) 011-711-9922
担当者名	(新潟電機) 大川 陽平 (クリマテック) 毛利 陽介
担当部署	(新潟電機) 営業部 (クリマテック) 所長
E-mail	(新潟電機) okawa@snowcon.com (クリマテック) mohri@weather.co.jp
U R L	(新潟電機) http://www.snowcon.com/ (クリマテック) http://www.weather.co.jp/

事業内容紹介

【新潟電機】は消雪パイプに欠かせない降雪検知器を40年に亘り製造販売しています。近年では消融雪設備の多様化に対応すべく降雪センサーの開発・製造を行っております。また、雪氷関連の気象観測機器も開発・販売を行っております。

【クリマテック】は冬の雪氷・防災関連の自動気象観測システムを紹介しします。無電源計測、遠隔データ通信システム、警報メールによる運用など、様々な要望に対応可能です。

消融雪設備向け降雪センサーと
気象雪氷観測機器のご紹介

出展内容紹介

【新潟電機】・省エネ運転に対応した降雪センサー「光スノーコン」を実機を展示致します。

・雪氷観測機器「積雪深計」「積雪重量計」「飛雪粒子計数装置」を実機とパネルでご紹介致します。

【クリマテック】・無電源対応の「風向風速計」「通信システム」「タイムラプスカメラ」「超音波積雪深計」・雨量計では捉えられない降雪量を検知する「ディストロメーター」



・降雪中の塩分濃度を自動測定する「雨雪塩分センサー」

6 株式会社 早水組

住 所	〒093-0012 北海道網走市南2条西5丁目1-1
T E L	0152-43-4551
F A X	0152-45-2288
担当者名	布宮 光也
担当部署	浚渫部
E-mail	nunomiya@kk-hayamizu.co.jp
U R L	http://www.kk-hayamizu.co.jp/

事業内容紹介

株式会社早水組は、「地球にやさしく、人にやさしく、環境保全企業」として土木部門、浚渫部門、建築部門、住宅部門の品質向上を常に考え、お客様に満足をお届け続ける企業です。

環境に配慮した水底土砂を取り除く
浚渫工法『真空吸引圧送浚渫工法』

出展内容紹介

真空吸引圧送浚渫工法は、浚渫時の汚濁の発生を抑制した環境に配慮した浚渫工法です。

釧路川や網走湖、大沼などラムサール条約登録湿地での施工など、周辺環境に影響が懸念される場所などでの施工や、有害物質などの除去を目的とした場所などでの施工実績を有している浚渫工法です



7 東光鉄工株式会社

住 所	〒018-5752 秋田県大館市本宮字上八野 8
T E L	0186-42-6403
F A X	0186-42-6424
担当者名	糸田 邦男
担当部署	ドーム事業部
E-mail	itoda.k@toko-akita.co.jp
U R L	http://www.toko-akita.co.jp

事業内容紹介

各種構造物の設計製作 TOKOドーム、建築鉄骨、建築耐震等、橋梁、水門、クレーン、圧力容器、各種プラント等、支保工、セントル、スノーシェルター、防音壁、土木他

UAV事業部では、ドローンの製作・販売・教習を行っております。当事業部では、TOKOドームを主体にスノーシェルターとカーポートを担当しております。

ドームカーポート / ドームガレージ

出展内容紹介

豪雪に見舞われる雪国の車庫（カーポート）に求められるのは積雪強度です。ドームカーポート/ドームガレージは南極昭和基地へ納入実績のあるTOKOドームのノウハウをフィードバックし、デッキプレート（金属板）を屋根材として使用（厚さ 2.3mm）し、オールメッキ耐錆 30 年長期メンテナンス不要です。



8 シナネン株式会社 ファブヒート事業部

住 所	宮城県仙台市宮城野区萩野町 3-14-1
T E L	022-782-5560
F A X	022-782-5561
担当者名	川名 英二
担当部署	開発・営業チーム
E-mail	eiji-kawana@sinanengroup.co.jp
U R L	www.sinanen.com

事業内容紹介

当社は、1927 年固形燃料の製造・販売会社として創業以来、石油製品・LP ガスを中心にお客様に快適なエネルギー環境を提供し続けております。

ファブヒート事業部では、面状発熱体を用いて、ソーラーパネルや屋根からの落雪、道路の積雪によるリスクを解決する融雪システムを開発しており、雪害などの冬期間の安全で安心な生活に役に立つ製品化に邁進をしております。

各種雪害対策商品のご紹介

出展内容紹介

- 太陽光パネル用ヒーター
- 家庭用融雪マット
- 融雪機能付き雪止め金具
- 保温機能付きベスト
- LED 信号着雪防止装置
- 塗布型ヒーター

9 株式会社ウッドプラスチックテクノロジー

住 所	東京都文京区小石川3-1-24小石川食糧販売ビル
T E L	03-5844-3366
F A X	03-5844-3367
担当者名	三浦 省吾
担当部署	営業部
E-mail	miura@wpt.co.jp
U R L	http://wpt.co.jp

事業内容紹介

ウッドプラスチックの開発
ウッドプラスチック製パレットの製造・販売

工事用敷板Wボード / ウッドプラスチック製融雪版・

出展内容紹介

当製品Wボードはウッドプラスチック製の敷板であり、敷鉄板代替として開発された。

製品重量は39kgと敷き鉄板より92%軽量化されており、10t積載のトラックで従来技術では19枚しか運べないところ、新技術では250枚を一度に運べる。

このため、運搬コスト、運搬に伴うCO2排出量を削減できる。また設置についても、重機が不要であり普通作



業員が人力で設置できるため、コスト削減、工期短縮が可能である。このWボードを用いて融雪版の開発をシナネン(株)と共同開発を行っている。

10 株式会社 構研エンジニアリング

住 所	〒065-8510 札幌市東区北 18 条東 17 丁目 1-1
T E L	011-780-2811
F A X	011-785-1501
担当者名	長沼 芳樹
担当部署	技術管理部
E-mail	y.naganuma@koken-e.co.jp
U R L	http://www.koken-e.co.jp

事業内容紹介

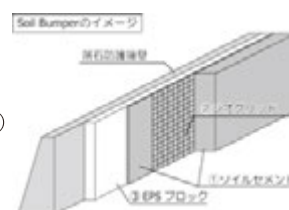
当社は、「北の大地から、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念に掲げ行動する、道路・橋梁・防災・河川・環境・地質調査のコンサルタントです。

北の大地で培ったさまざまな技術や経験を生かし、北国に住む一人ひとりの方々が、安全・安心で豊かな暮らしが維持できるよう、地域を結び交通体系や環境整備などに関する、様々な支援策を提案しております。

北のみちの安全・安心をサポート

出展内容紹介

- パネル展示
- ・ソイルバンパー
- ・インフラマネジメントシステム(IMS)
- ・移動式定点撮影システム
- ・リモートモニタリングシステム(RMS)
- ・移動気象観測車両
- ・冬期雪氷調査 他
- 展示物
- ・雪氷調査備品類
- ・リモートモニタリングシステム(RMS) 他



11 有限会社 斉藤農機具製作所

住 所	枝幸郡枝幸町歌登南町 404-15
T E L	0163-68-2628
F A X	0163-68-2628
担当者名	成澤 英輝
担当部署	
E-mail	hidekiririku@alpha.ocn.ne.jp
U R L	

事業内容紹介

昭和18年に農業・林業を中心に、用具の製作及び修理を行い第1次産業の支えとなる鍛冶屋として創業いたしました。

近年は、機械修理をはじめ加工溶接などの仕事を中心となり、農機具メーカーからの修理作業が主体としております。また、冬期間においては、官庁など除雪車のエッジの取替溶接を行っています。

平成27年8月27日に旭川市で開催された、農機博で斉藤式再懇ブラウが銅牌を受賞、その後、特許を取得いたしました。

雪が降る地域の味方、
『カルロス君』で快適な除雪作業を！

出展内容紹介

除雪作業で、軽くて・使いやすく・丈夫なカルロス君を製作いたしました。

羽根の部分がアルミニウム製でとても軽く、取手部分は、鉄製パイプを使用し非常に丈夫、刃先はステンレス製で仕上げております。

カルロス君は、使用される方の体型に合わせた角度や高さを調節し、完全オーダーメイドで製作しており、広範囲を短時間で効果的に除雪



し快適な除雪作業を約束します。

12 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

住 所	〒062-8602 札幌市豊平区平岸 1 条 3 丁目 1 番 34 号
T E L	011-590-4050
F A X	011-590-4048
担当者名	技術相談（総合窓口）
担当部署	寒地技術推進室
E-mail	gjutusoudan@ceri.go.jp
U R L	http://www.ceri.go.jp/

事業内容紹介

寒地土木研究所は、寒地土木技術に関する研究開発、技術指導、成果の普及等を行うことにより、土木技術の向上を図り、良質な社会資本の効率的な整備及び北海道開発の推進に資することを目的に設立された、我が国唯一の寒地土木技術の試験研究機関です。

これまでに研究開発した技術は、北海道内に限らず本州以南の積雪寒冷地へも開発技術の普及を進めており、人々の安全で安心な暮らしに寄与しております。

寒地土木技術のパイオニア

出展内容紹介

【パネル展示】

▶除雪機械状況の可視化・シミュレーション技術▶ロータリ除雪車対応型アタッチメント式路面清掃装置▶凍結防止剤散布車散布情報収集・管理技術▶冬期路面改善シミュレーター（WiRIS（ウィリス））▶冬期路面すべり抵抗モニタリングシステム▶冬期路面管理支援システム▶高盛大土・広幅員に対応した新型防雪柵▶路側設置型防雪柵



路側設置型防雪柵

13 株式会社キャスト

住 所	〒961-0302 福島県白河市東上野出島字久保 2 番地
T E L	0248-34-3971
F A X	0248-34-3973
担当者名	柏村 洋一
担当部署	技術営業部
E-mail	blade@kkcast.co.jp
U R L	http://www.kkcast.co.jp/blade.html

事業内容紹介

当社は鋳造品を製造、販売しています。材質はFCG(片状黒鉛鋳鉄)、FCD(球状黒鉛鋳鉄)、合金鋳鉄を製造し、成型プロセスはフラン有機自硬性鋳型で、半自動化ラインと手込みで製造しています。取扱重量は50kg～4,000kg 月間生産数は1種類あたり最大200個の生産が可能です。

創業125年の技術と最新のIT技術で鋳造品を安定供給。鋳造工場のイメージを変えたクリーンな工場で、若い人材が活躍しています。福島県白河圏域複合企業体『白河素形材ヴァレー』の発足により、鋳造・鍛造・ダイカストで生み出された素材を周辺地域で熟処理・加工し、地の利を活かした加工完成部品を国内・国外に安定提供する事を目標とし、グローバル化を推進しています。

キャストイングパワーブレードの展示
(フォークリフト除雪アタッチメント)

出展内容紹介

当社のオリジナル フォークリフトアタッチメントです。フォークリフトに装着するだけで除雪車両になります。専用金具と固定ベルトも付属しています。創業 125 年の鋳物屋が鋳造の良さを生かし本気で作った一級品。匠の技が光る鋳造品です。2～3年ではがれたり、曲がったりする板金溶接の除雪ブレードとは圧倒的に強度が違います。耐久年数に自信あり。



キャストイングパワーブレード

14 株式会社ドーコン

住 所	〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4 番 1 号
T E L	011-801-1565
F A X	011-801-1566
担当者名	長井 智典
担当部署	事業企画室
E-mail	tn1016@docon.jp
U R L	http://www.docon.jp

事業内容紹介

弊社は、「信頼の“人と技術”で豊かな人間環境の創造に貢献する」という経営理念のもと、人と自然が共生できる快適な生活環境作りを目指している総合建設コンサルタントです。

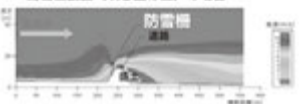
北海道で生まれ育ち、これまで培ってきた寒冷地技術の研究と創意工夫をさらに発展させ、豊かな発想で獨創性、総合性に優れた技術を提案し、北国の豊かさに貢献できる企業でありつづけたいと考えています。

北国のくらしを豊かに
～寒冷地の環境と歩むドーコンの技術～

出展内容紹介

弊社のブースでは、「北国のくらしを豊かに～寒冷地の環境と歩むドーコンの技術～」をテーマに、道路、くらし、観光地域づくりなどに関する弊社がこれまで培ってきた技術をご紹介します。今回は、①吹雪シミュレーション、②ダム流域における積雪包蔵水量の長期変動解析、③i-Construction への対応技術、④北海道の地域・観光振興に向けた取り組み、についてご紹介します。

移動気象観測車による調査

シミュレーション例
防雪柵設置（吹き止め柵）の場合

吹雪の数値シミュレーション

15 山田技研株式会社

住 所	福井県福井市花堂南2-5-12
T E L	0776-36-0460
F A X	0776-36-0623
担当者名	酢谷 浩
担当部署	営業・企画開発
E-mail	info@yamada-giken.co.jp
U R L	http://www.yamada-giken.co.jp

事業内容紹介

雪から幸（ゆき）を造ることを目標に、冬期道路管理のための計測機器・システムの開発・製造・販売を行っています。

当社のセンサは、冬期道路・鉄道の安全と効率化を支援しています。

また、雪氷に関する大学や自治体等との共同研究やコンサルティング業務も実施しています。

冬期道路の安全管理を効率化する
計測機器・システム

出展内容紹介

①車載式塩分濃度システム：凍結防止剤散布の最適化を支援。走行しながら路面残留塩分濃度、路温、車両位置を計測するため、濃度測定を連続的に、安全に実施。

②路面性状センサ(NEWロードアイ)：路面の性状(乾燥・湿潤・積雪・凍結)、温度、積雪深を道路横断的に計測し、「面」的な情報として可視化。

③車両画像装置・位置把握システム(パトリールビュー)：車載カメラの画像をリアルタイムで伝送し、遠隔PC上で確認可。



画像、位置情報、KPをweb専用ソフトにて表示。

16 株式会社北海道 PVGS / 株式会社 KITABA

住 所	札幌市中央区大通東3丁目1番地 倉沢ビル3階
T E L	011-522-5245
F A X	011-522-5870
担当者名	荻野 貴之
担当部署	営業技術部
E-mail	info@hokkaidopvgs.jp
U R L	http://hokkaidopvgs.jp

事業内容紹介

弊社は、表裏両面ともに発電可能な太陽電池「EarthON」を販売しております。

両面発電太陽電池は、従来の太陽電池では難しい「垂直設置」をすることが可能になります。垂直設置の利点は、積雪地域において、パネルへの積雪を防止し、なおかつ地面の積雪からの反射・散乱光を両面で受け発電に寄与するというものです。太陽光発電にとって従来の概念では積雪はデメリットでしたが、雪を味方にしメリットに変えることが出来ます。

雪に強く、雪を味方につける
両面発電太陽電池「EarthON(アーンソ)」

出展内容紹介

・両面発電太陽電池「EarthON」
「両面発電太陽電池」の仕組みや特徴、道内外での導入事例をご紹介します。

・追尾式両面太陽光発電システム
新たに開発した追尾式両面太陽光発電システムは、冬季の発電を更に向上させることができます。足掛け2年に渡る実証試験の結果、実発電量は従来の固定式片面太陽光発電システムに比べ約1.6倍、設備利用率は



従来の約13%から約20%超と大幅に向上しました。

17 有限会社井村商会・青森環境開発株式会社

住 所	青森県青森市野内菊川 70-11
T E L	017-752-8010
F A X	017-752-8011
担当者名	井村 学
担当部署	
E-mail	senmac@imsy.co.jp
U R L	http://www.imsy.co.jp/

事業内容紹介

有限会社井村商会
青森市を中心に、水道設備のパイオニア 井村商会です。

青森環境開発株式会社
土木事業を中心とした、新たな時代に着手したものづくり新分野事業、リフォーム事業、プライベート資材販売事業の4分野を柱としている会社です。今年度からは農業分野にも進出する予定です。

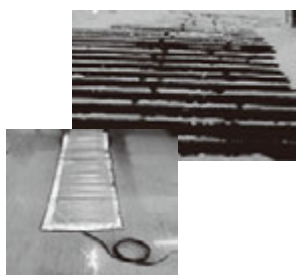
面状融雪と雪の付着しない信号機で
「快適・安全・省エネ」

出展内容紹介

従来のカーボン系面状発熱体と異なり、新たな面状発熱体を開発しました。

駐車場、歩道部、車庫入口、排水溝等、面状発熱体を直接敷設することを目的としました。

また、屋根や橋梁等の雪庇にも利用が可能です。



18 株式会社ウェザーニューズ

住 所	札幌市中央区南1条西6丁目旭川信金ビル
T E L	011-251-5844
F A X	011-251-5835
担当者名	岩井 佑樹
担当部署	札幌 SSB
E-mail	iwai@wni.com
U R L	http://weathernews.jp

事業内容紹介

ウェザーニューズは、独自の観測・感測ネットワークと気象予測プロセスによる気象コンテンツを通じて、地方自治体、道路や鉄道などの交通インフラ、物流・商業などの様々な分野に対して、リスクコミュニケーションサービスを提供しています。

雪寒地域に対する
気象予測の取り組み紹介

出展内容紹介

・雪寒地域に対する気象技術およびコンテンツの紹介
地方自治体や交通インフラ向けのお客様に対する気象コンテンツの一例をご紹介します。

・ウェザーニューズの最新の気象予測技術の紹介
独自インフラを用いた気象予測技術の紹介や取り組み内容をご紹介します。

19 株式会社セイシン・ペンティア テクニカルソリューションズ 株式会社

住 所	〒930-0821 富山県富山市飯野 15 番地の 5
T E L	076-451-0541
F A X	076-451-0543
担当者名	若林 彰
担当部署	
E-mail	a-wakabayashi@kk-seishin.com
U R L	http://www.kk-seishin.com/

事業内容紹介

弊社は北陸を拠点とし、主に北日本のみなさまの生活に役立つ商品を扱ってきた工業専門商社です。「行動の源はお客様のために」「公共心を以て人々の信頼に応えよう」という経営理念のもと、特に、雪国における冬季の生活、交通を安全・安心・快適なものにするべく、各種のヒーター類をご紹介させていただいています。

ほんの少しの電気の力で、
積雪・凍結の苦勞を融かします。

出展内容紹介

1. 自己制御型凍結防止ヒーター

雪国に暮らす人々にとって除雪対策は大きな問題。ヒーター自体が周辺温度を感知しながら自動的に電気を増減するインテリジェントなヒーターで、路面や橋梁、屋根の雪を除きます。

2. HWAT給湯温度保持システム / DSR水道凍結防止帯

給湯用配管に自己制御型凍結防止ヒーターを取り付けることで、温水の温度保持や屋外配管の凍結防止に。

3. 融雪ゴムマット

玄関前には置くだけ簡単なゴムマットヒーター。



20 株式会社 ノースプラン

住 所	北海道札幌市東区北丘珠 2 条 3 丁目 2-30
T E L	011-788-1855
F A X	011-788-1850
担当者名	佐藤 主章
担当部署	企画開発部
E-mail	northplan@northplan.net
U R L	http://www.northplan.net/

事業内容紹介

弊社は、防風・防雪・雪崩対策製品施設の調査・設計・製作を行っています。従来型では困難であった厳しい気象条件下の対策や手法が確立されていない雪害など、時代とともにその対策製品は変遷を余儀なくされており、これまで蓄積してきた技術を活かし、従来製品の弱点軽減や新製品の開発に取り組んでおります。

従来型防雪対策製品の弱点を
軽減する新たな製品技術

出展内容紹介

◎パネル展示

・風向変換型パネルを用いた高性能吹き止め柵 (DC フェンス 2040)
・高性能雪底防止柵 (SCP フェンス)

◎展示物

・風向変換型パネル (DC パネル)
・送風実験装置



21 日本地下水開発株式会社

住 所	〒990-2313 山形県山形市松原 7 7 7 番地
T E L	023-688-6002
F A X	023-695-4747
担当者名	黒沼 覚
担当部署	営業本部 企画開発部
E-mail	s-kuronuma@jgd.jp
U R L	http://www.jgd.jp/

事業内容紹介

- ◎克雪事業 (消雪事業 / 無散水消雪システムの開発・設計・施工・メンテナンス 等)
- ◎資源開発事業 (温泉開発、地熱開発、水源開発)
- ◎環境エネルギー事業 (土壌・地下水汚染の調査・対策、地下水熱・地中熱利用技術の研究開発、帯水層蓄熱利用システムの研究開発、地中熱利用 HP システムの研究開発)

地下水熱・地中熱を利用した
『無散水消雪システム』

出展内容紹介

- ①地下水・地中熱等の自然エネルギーを利用した無散水消雪システムの紹介
- ②可搬式溶液散布装置『トケボ〜』の案内
- ③特殊振動機構を使用した掘削方式『ソニックドリル』の案内
- ④帯水層蓄熱システムの紹介
- ⑤自噴井を利用した地中熱冷暖房システムの紹介



無散水消雪システム施工例

22 株式会社 前川製作所

住 所	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮 2-37-7
T E L	019-656-5005
F A X	019-636-3070
担当者名	三浦 雅彦
担当部署	東北支店 盛岡営業所
E-mail	masahiko-miura@mayekawa.co.jp
U R L	http://www.mayekawa.co.jp/

事業内容紹介

前川製作所は、産業用冷凍機の製造から出発し、熱の分野において顧客のニーズにお応えする活動を続けてまいりました。現在ではお客様と一体となって考え創りあげる「共創」の考え方をベースに、トータルなシステムの改善・開発を進めています。

この熱技術を融雪システムへも活かし、省資源・省エネルギー・環境保全・経済性を同時に満足させる「ヒートポンプ融雪システム」を多数納入しております。

自然エネルギー・未利用エネルギー利用
ヒートポンプ融雪システム

出展内容紹介

自然エネルギー (空気)、未利用エネルギー (地下水熱・温泉熱・下水熱) を熱源にしたヒートポンプ融雪システムについて、道路融雪へ積極的に活用した事例や、地球環境に配慮したノンフロンヒートポンプの取組みを写真パネルで紹介いたします。



23 株式会社 TTK

住 所	宮城県仙台市若林区新寺 1-2-23
T E L	022-297-6888
F A X	022-297-5024
担当者名	佐々木 智光
担当部署	パートナー事業推進部
E-mail	kankyouttk-g.co.jp
U R L	http://www.ttk-g.co.jp

事業内容紹介

TTKグループは、昭和 30 年の創業以来半世紀以上にわたり、東北地方の情報通信設備の構築に携わってまいりました。現在は通信分野にとどまらず、様々な可能性にチャレンジしています。そのひとつが「人にやさしく、自然にやさしい」をコンセプトとした環境改善事業です。太陽光発電設備構築や省エネ照明設置工事に加え、当社で開発した防風・防雪施設「TTKベルト式ネットフェンス」の販売事業を展開しています。

TTKベルト式ネットフェンス

出展内容紹介

樹脂製のベルトを格子状に組み合わせたネットを利用した、軽量コンパクトな環境に優しいフェンスです。高所作業が不要となるため、施工時の安全性向上、作業員の負担軽減等、作業環境の改善を図れます。加工し易くフレキシブルな樹脂の特性を利用して、さまざまなバリエーションにより道路や各種施設を風や雪から守り、より安全で快適な環境を実現します。



24 日本コンクリート工業株式会社

住 所	〒108-0023 東京都港区芝浦 4-6-14 NC芝浦ビル
T E L	03-3452-1052
F A X	03-3452-1123
担当者名	山川 雄大
担当部署	PC壁体・擁壁営業部
E-mail	yuta_yamakawa@star.ncic.co.jp
U R L	http://www.ncic.co.jp

事業内容紹介

67 年の歴史を持つ日本コンクリート工業は、全国シェア No.1 を誇る配電・通信線を支えるポールをはじめ、建築物の基礎を支えるパイル、そして鉄道・道路・河川等整備に必要なコンクリート製品を通じて社会の基盤を支え続けています。コンクリート二次製品事業のリーディングカンパニーとして、海外事業や環境・エネルギー事業にも積極的に取り組んでいます。

PC-壁体工法
親杭パネル壁工法

出展内容紹介

- ・PC-壁体：スノーシェッド山側側壁の施工実績事例
- ・親杭パネル：急峻地形での施工実績事例
- ・ポアセル：セメント系の剛体多孔質吸音材の製品紹介
- ・PAdeCS：コンクリートスラッジの完全再資源化技術による高性能脱リン材の製品紹介



25 北海道日油株式会社

住 所	〒079-0167 北海道美唄市光珠内 5 4 9 番地
T E L	0126-67-2211
F A X	0126-62-1114
担当者名	中地 章
担当部署	営業部
E-mail	a.nakachi@hnof.co.jp
U R L	http://www.hnof.co.jp/

事業内容紹介

弊社は国内唯一の環境配慮型液状凍結防止剤「カマグ」と、その自動供給システムの両者を製造・販売するメーカーであります。

「カマグ」は重要構物である道路・橋梁の凍結防止剤として環境保護の観点から商品化したものです。弊社は積雪寒冷地における安全、安心な生活に貢献します。

環境配慮型液状凍結防止剤(カマグ)
及びその自動供給システム

出展内容紹介

道路・橋梁・鉄道・空港滑走路用等として当社が製造・販売している各種環境配慮型液状、粒状凍結防止剤の説明。

また、環境配慮型液状凍結防止剤「カマグ」の活用目的で商品化した各種自動供給システムをご紹介します。



26 株式会社興和

住 所	〒950-8565 新潟県新潟市中央区新光町 6-1
T E L	025-281-8816
F A X	025-281-8835
担当者名	藤野 丈志
担当部署	水工部
E-mail	t-fujino@kowa-net.co.jp
U R L	http://www.kowa-net.co.jp/

事業内容紹介

雪と大地、地域とともに半世紀。株式会社興和は、快適な生活と豊かな自然環境の保全の両立をテーマに、地域社会をより安全快適なものにしながら地球環境にも優しい、クリーンエネルギーを活用した消融雪技術の開発に取り組んでいます。

雪国の暮らしを支える
環境に優しい消融雪施設

出展内容紹介

- 融雪施設
地中熱や下水熱など再生可能エネルギーの活用と、化石エネルギーの有効利用を考えた、環境に優しい消融雪施設と制御技術を紹介いたします。
- 設備管理・雪崩検知システム
各種無線・通信網を活用した消融雪設備や排水設備などの遠隔操作・監視システムを紹介いたします。また、雪崩発生の兆候を素早くキャッチする雪崩検知システムも紹介いたします。



27 株式会社ヒルコ

住 所	札幌市白石区米里3条2丁目5-6
T E L	011-871-5511
F A X	011-871-5530
担当者名	矢野 修
担当部署	営業部
E-mail	hiruko@hiruko.co.jp
U R L	http://www.hiruko.co.jp/

事業内容紹介

当社は昭和56年に設立し、融雪機器の企画・製造・販売・施工に絞り込み融雪機・融雪槽、各種ロードヒーティングや屋根融雪システムなど多様なサービスを提供する融雪総合メーカーです。
「北国のふゆを快適に」をモットーに雪国の生活シーンを改善するさまざまな融雪商品を展示しております。

北国の冬を快適に過ごす 融雪を中心とした商品のご提案

出展内容紹介

- 展示・パネル展示
○融雪機、融雪槽
・埋設型融雪機・移動式融雪機・埋設型融雪槽・ヒートポンプ式融雪槽
○ロードヒーティング
・ヒートポンプ式・電気式・灯油温水式・ガス温水式
○屋根融雪システム・無落雪型・軒先型他
○他雪対策商品・融雪マット・セッピ防止装置
○新開発商品
・ロードヒーティング遠隔操作システム



28 株式会社 GISupply

住 所	北海道上川郡東川町南町3丁目8-15
T E L	0166-73-3787
F A X	0166-73-3788
担当者名	西館 大
担当部署	
E-mail	info@trackers.jp
U R L	http://www.trackers.jp/

事業内容紹介

株式会社GISupplyではGPS機器、自動撮影カメラなど、位置や通信、画像に関わる機器の開発、輸入、販売を行っています。
GPS機器の分野では、「業務向け端末」をモットーとした、柔軟性の高い製品を豊富なラインナップで提供しています。
他社製品では叶わなかった要望を一つ一つ丁寧に解決いたします。

「見える」除雪管理システム

出展内容紹介

GPSトラッカー、GPSロガーを利用した、「除雪車管理」では、業務の報告から、効率化まで、幅広いニーズへの対応が可能です。
当日は、実機の展示と導入事例のご紹介を致しておりますので、是非お立ち寄りください。



29 株式会社エルコム

住 所	札幌市北区北10条西1丁目10番1号 MCビル
T E L	011-727-7003
F A X	011-727-7004
担当者名	小林 雄輔
担当部署	新事業開発部
E-mail	kobayashi@elcom-jp.com
U R L	www.elcom-jp.com

事業内容紹介

「地球に澄んだ森と水と太陽を」
弊社はこの経営理念(事業テーマ)のもと社会の持続可能な発展と、地球環境の保護を目指す北海道発のものづくりカンパニーです。
○環境機械事業 資源ゴミから固形燃料を作りエネルギーの地産地消を可能にする「e-PEPシステム」や、小型ゴミ圧縮機「プレモ」の開発・設計・販売
○産業機械事業 赤外線融雪装置「解ケルモ」や駐車場関連装置の開発・設計・販売

照射型の融雪装置「解ケルモ」で 転倒防止の安全対策と防災対策

出展内容紹介

- ◆遠赤外線融雪機「解ケルモ」
①遠赤外線を凍結・積雪部分に照射し、雪を溶かします。
②人通りの多い通路や階段、スロープ、鉄道などの公共機関にも導入実績があり、通行人の転倒防止や雪害対策に役立ちます。
③大掛かりな工事は無く短期間で設置可能。
④降雪センサーによる自動運転(気温・降雪感知)で無駄な運転を無くし省エネ効果を実現。



30 キャタピラー・ソリューション・エンジニアリング株式会社

住 所	神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1
T E L	0467-75-0740
F A X	0467-75-0881
担当者名	江島 和弘
担当部署	営業部商事商品グループ
E-mail	ejima_kazuhiro@jpnecat.com
U R L	https://www.nipponcat.co.jp/cse/

事業内容紹介

私たちは、日本キャタピラーグループの建設機械カスタマイズ部門の会社として、個々のお客様の多様なニーズに即応した各種のソリューションを提供しています。主力事業である建設機械関連部門では、会社発足時から蓄えてきた豊富な設計ノウハウを土台に、自社工場及び協力工場と共にお客様の目的・用途のご要望を具体的に実現するカスタマイズの一貫体制をとっております。また、関連商品部門として、国内外のサプライヤと連携し、多種・多様な商品をご提供する事業も行っております。

除雪車による除雪作業の 安全・効率向上のお手伝い

出展内容紹介

1. スマート除雪ナビ
除雪障害物回避／安全運行補助システム。夏場画像と地図で除雪障害物への接近時警告を出す安全システム。
2. ブラクステール
ヒューマンセンシング車両安全システム。産業車両による除雪作業時の死角をカバー。



31 函館測量設計業協会(担当:未来構想研グループ)

住 所	〒040-0033 函館市千歳町21番13号 桐朋会館2階
T E L	0138-26-3323
F A X	0138-26-2766
担当者名	事務局次長 酒井 哲美
担当部署	函館測量設計業協会事務局
E-mail	hakosoku@msb.ncv.ne.jp
U R L	http://sokuryou.hakodate.jp/

事業内容紹介

函館測量設計業協会は、測量・設計・地質及び補償など各種建設コンサルタント業あるいは測量業を生業とする会員128社で構成され、地域社会の発展向上と住民生活の安全安心の維持存続に寄与することを目的に、技術の向上やPR等に関する各種事業を推進しています。今回の「2017ふゆトピア・フェアin函館」では、当会の「測量設計業の未来を構想する」若手グループが中心となり企画運営をしています。

社会資本構築に貢献する 測量設計業の未来を見据えて

出展内容紹介

建設関連業を取り巻く社会環境の転換期を迎え、国土交通省は、建設産業の生産性を向上させるべく「i-construction」を推進しております。当会の会員各社でも、その一翼を担うCIM技術を導入するなど、日々挑戦を続けています。今回の展示では、その一端であります「ドローンや3Dスキャナー」の関連機器および測量設計等の事例を紹介いたします。



32 道路期成会

住 所	函館市東雲町4番13号
T E L	0138-21-3427
F A X	0138-22-4005
担当者名	
担当部署	新外環状道路整備推進室
E-mail	shinsoto-1@city.hakodate.hokkaido.jp
U R L	http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014011500679/

事業内容紹介

北海道縦貫自動車道・函館江差自動車道・函館新外環状道路・松前半島道路など、各路線の沿線市町や団体が組織される各期成会では、住民の安全安心な生活や経済・観光などを支える南北海道の高速交通ネットワークの情報を発信しています。

冬でも安心の高規格幹線道路 「つなげよう道南の高速交通ネットワーク」

出展内容紹介

北海道新幹線開業に沸く函館近郊の高規格幹線道路などを、わかりやすくパネルでご紹介いたします。道路ができることによって期待されるストック効果をご覧ください。



33 東日本高速道路株式会社北海道支社・NEXCO東日本グループ

住 所	〒004-8512 北海道札幌市厚別区大谷地西5丁目12-30
T E L	011-896-5211
F A X	
担当者名	及川 叙二
担当部署	道路事業部 事業統括課
E-mail	j.oikawa.aa@e-nexco.co.jp
U R L	http://www.e-nexco.co.jp/

事業内容紹介

NEXCO東日本グループでは、北海道の冬期間における厳しい気象条件において、雪氷の最新技術とノウハウを最大限に発揮して、安全・安心・円滑な交通を確保し、お客さまに満足していただける高速道路空間とサービスの提供に努めています。

冬のハイウェイもこれで安心 ～安全・安心を実現する雪氷技術～

出展内容紹介

・凍結防止剤最適自動散布システム⇒路面状態を自動計測、散布量を算定しオート散布
・除雪機械サラウンドビューモニター⇒車両周辺を俯瞰的に映像化、作業安全が向上
・道路画像配信システム⇒巡回車に搭載したWEBカメラで道路状況をリアル送信
・降積雪量計測WEBシステム⇒光波式積雪深計で自動計測、記録保存



・準天頂衛星を利用した除雪作業車の運転支援システムの開発⇒測位システムと地図情報により作業をガイダンス



除雪機械展示・実演会、競技会

除雪機械展示・実演会

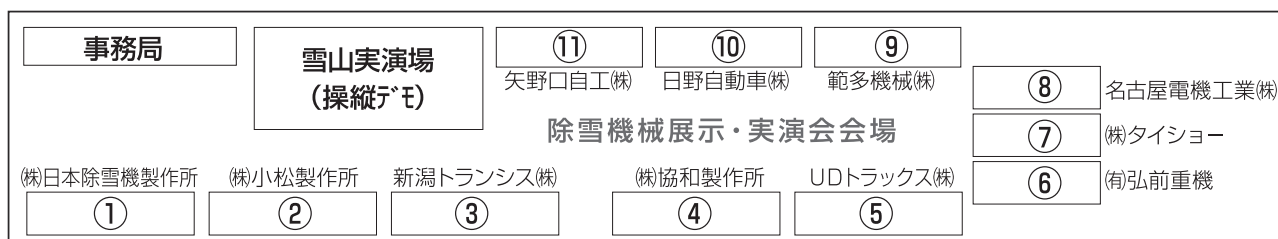
Exhibition, demonstration

除雪機械の展示・実演を通して最先端の技術を紹介し、除雪機械・装置の技術革新や除雪事業の取組について、理解していただくことを目的に開催します。

開催日 平成29年1月26日(木) 10:00~16:00 27日(金) 10:00~15:00

会場 函館競馬場 駐車場

除雪機械展示・実演会 会場案内図



実演スケジュール (予定)

時間	出展企業	内容
(26日) AM 10:30~12:25	(株)日本除雪機製作所	HTR308 2.2m級(2.6m幅)
PM 13:00~14:55	(株)小松製作所	モーターグレーダー、ホイールローダ
(27日) AM 10:10~12:05	新潟トランス(株)	ロータリ除雪車、小型除雪車
PM 12:35~14:30	矢野口自工(株)	スノウプラウLADOG LL
	弘前重機(株)	WEST SNOW WAGON

競技会 (第3回 除雪車チャンピオンシップ)

Competition

渡島、檜山地区等の除雪作業に携わるオペレーターの方々が運転技能を競い合い、除雪技術の向上やオペレーター同士の情報共有を目的として開催します。普段見ることがない、迫力ある除雪機械の操作を間近で見ていただき、来場者の皆様に除雪作業の重要性や技術力の高さを理解していただけるものと思います。

開催日 平成29年1月26日(木) 13:00~16:00

会場 函館競馬場 駐車場

競技種目

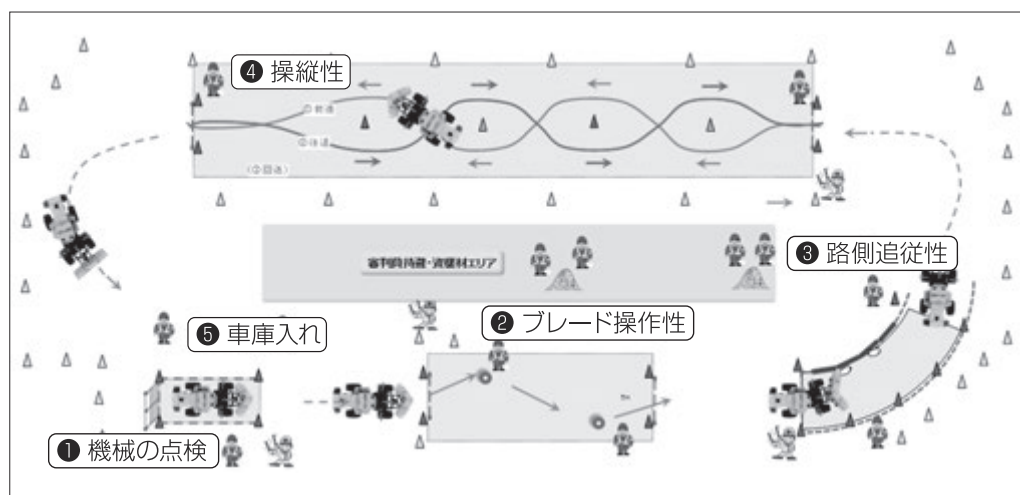
- ① 機械の点検
- ② ブレード操作性
- ③ 路側追従性
- ④ 操縦性
- ⑤ 車庫入れ



競技車両
日立建機 除雪ドーザ
ZW100-5B 1.3m³
(車両提供 北海道川崎建機(株))

除雪車チャンピオンシップレイアウト図

競技参加者 12名



1 株式会社 日本除雪機製作所

住 所	〒006-0835 札幌市手稲区曙 5 条 5 丁目 1-10
T E L	011-681-3115
F A X	011-682-1326
担当者名	坂田 誠司
担当部署	営業企画部
E-mail	njsales@nichijo.co.jp
U R L	http://www.nichijo.jp

事業内容紹介

当社は昭和 37 年、除雪機専門メーカーとして創業して以来、各地域の特殊性に即した製品を開発し、ロータリ除雪車、凍結防止剤散布車、軌道モーターカー、さらには重量物運搬車など、多彩な製品を提供しています。

来年度からは、第 4 次ファイナル排出ガス規制に対応した小形除雪車の販売を開始します。これにより、中・大形から小形まで、全てのロータリ除雪車が第 4 次ファイナル排出ガス規制車となります。

雪国のライフラインを守り、安全で快適な生活を支えます。

出展内容紹介

HTR308

運搬排雪から山間部や市街地の拡幅除雪まで、幅広い除雪作業に応える2.2m級・2.6m220kW級ロータリ除雪車です。

KBR108

市街地、市町村道で抜群の除雪能力と不陸走破性を発揮する、ブレード・ロータリ兼用形小形除雪車です。

NWS25

山岳多雪地域から市街地まで使用でき、湿式散布と乾式散布が切替可



能な、凍結防止剤散布車の人気モデルです。

2 コマツ

住 所	〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6
T E L	03-5561-2714
F A X	03-5561-2902
担当者名	大村 吉隆
担当部署	国内販売本部
E-mail	yoshitaka_ohmura@komatsu.co.jp
U R L	http://www.komatsu.co.jp/

事業内容紹介

1921年に創立したコマツは、建設・鉱山機械や、ユーティリティ（小型機械）、林業機械、産業機械や物流、サービス関連事業などの分野において、幅広い製品とサービスを提供しております。

コマツは、「品質と信頼性」を最も大切なテーマとして位置づけ、お客さまのニーズと期待に最善の形で応えることのできる、安全で創造的な製品とサービスを今後も着実に提供してまいります。

安全で安心して末永く使用していただける製品の提供を目指します

出展内容紹介

コマツは製品やサービスを通して、もっと効率良く、より安全に、そして快適な除雪作業に貢献します。

オフロード法2014年排出ガス規制に対応したGD675-6やWA40-8の他、市街地の除雪には欠かせないホイールローダーWA100-7などをラインナップ。

また、2016年に販売開始40周年を迎え、今年新たな一歩を踏み出したミニショベルの中からPC45MR-5



を展覧します。

3 新潟トランス株式会社

住 所	北海道札幌市中央区北四条西 6-1 毎日札幌会館内
T E L	011-231-3107
F A X	011-231-3107
担当者名	田丸 修司
担当部署	北海道営業所
E-mail	niigata_jyosetsuki@niigata-transys.com
U R L	http://www.niigata-transys.com/

事業内容紹介

新潟トランス株式会社は、道路除雪車、鉄道車両、新交通システム、LRTシステム、鉄道保守用車両の製造、そしてそれらに関わるアフターサービス事業と多岐にわたります。

なかでもロータリ除雪車は、一般道から歩道、高速道路、空港用まで幅広くラインナップしています。

雪国の発展に貢献するニイガタロータリ！

出展内容紹介

最終 4 次排出ガス規制に対応した2.2m級ロータリ除雪車 NR303 形および普通免許でも運転できる小型除雪車 NR31P「とらん丸」を展示いたしております。

また、IHI グループのカatalog等を弊社ブースにてご用意しております。



4 株式会社協和機械製作所

住 所	〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 1 2 丁目 3 番 25 号
T E L	011-661-2216
F A X	011-663-2007
担当者名	阿部 悟
担当部署	営業部
E-mail	kyowacom@rose.ocn.ne.jp
U R L	http://www.kyowa-kikai.co.jp

事業内容紹介

昭和14年創業。昭和27年除雪装置の研究開発を開始。以来あらゆる道路、空港滑走路の“快適安全”を実現するために技術開発を進め現在に至る。

これからも新しい技術の開発、提案を行い社会に貢献していきます。

特殊車両通行時に通行時間帯の制限を受けない除雪トラック(全幅3.0m)

出展内容紹介

除雪トラック(10t級6×6)全幅3.0m

●IP-37A型ワンウェイブラウ

◇全幅3.0m除雪幅2.9m

●KB-51A型(ESG-3型エッジ簡易着脱装置付)トラックグレーダ

◇全幅3.0m路面整正幅除雪幅2.9m

●10SM-3H型ツーウェイサイドウイング

◇サイドウイング専用装置(10S-7H型)と、マックレ専用装置(10M-7H型)

それぞれの長所を1台に集約



除雪トラック (10t級6×6)

5 UDトラックス株式会社

住 所	〒362-8523 埼玉県上尾市大字吉丁目 1 番地
T E L	
F A X	
担当者名	
担当部署	
E-mail	
U R L	http://www.udtrucks.com/ja-jp/home

事業内容紹介

UDトラックスはお客様の車両の燃費・稼働率向上のための輸送ソリューションを提供する商用車ブランドです。

1935年に設立されたUDトラックスは2007年以降、商用車、バス、建設機械、船舶用エンジンなどを製造・販売するボルボ・グループの商用車部門のグローバルブランドの1つとして、日本に本拠を置き、国内のみならず世界64カ国に販売ネットワークを展開しています。

大型トラック「クオン」の除雪専用車を展示

出展内容紹介

大型トラック「クオン」の除雪専用車を展示。近年の雪害や輸送インフラ強化を背景に、除雪車への需要が高まる中、国内唯一の大型総輪駆動除雪車製造メーカーとして、雪国の生活を支え、安定した物流インフラの維持に貢献するUDトラックスの大型総輪駆動除雪車を展示します。



6 有限会社弘前重機

住 所	〒036-8102 青森県弘前市小比内字福田 1 4 2
T E L	0172-27-4001
F A X	0172-27-4010
担当者名	須藤 廣光
担当部署	
E-mail	hiromitsu.sutou@hirosaki-juki.jp
U R L	http://hirosaki-juki.jp

事業内容紹介

除雪機メーカーの先駆者、WESTA。

本工場はドイツ南部の豪雪地帯に位置し、長年にわたる経験から独自に開発された“Rotary Snow Plow and Thrower”。

オフシーズンにはヨーロッパ各地でその威力を発揮しています。

新方式の除雪機 WESTA トレーラータイプ除雪機“スノーワゴン”

出展内容紹介

WESTA スノーローディングワゴンの登場によりこれまで日本になかった除雪方法が注目を集めています。除雪した雪を直接トレーラーへ積載し運搬する一連の作業を作業員一人で完結することができます。

ドイツの豪雪地帯ならではの頑丈な設計で新雪から水分を多く含んだ重たい雪まで、あらゆるタイプの雪質に対応します。



7 株式会社タイショー

住 所	茨城県水戸市元吉田町 1027
T E L	029-247-5503
F A X	029-248-2172
担当者名	榎戸 隆幸
担当部署	特機・DPE・エトーム
E-mail	tokki@taisho1.co.jp
U R L	http://www.taisho1.co.jp

事業内容紹介

- ・凍結防止剤散布機（車載型散布機）
- ・農業機械（穀物搬送機、スチーム発芽器、肥料散布機 等）

冬の道路の安全に役立てる 機械作りをめざします。

出展内容紹介

農業機械で培った技術を凍結防止剤散布機として開発致しました。

また、散布剤を投入する供給機も参考出品致します。

<特徴>

- ・車のバッテリーから電源を取り、モーターを駆動。
- ・散布幅3m～7mの無段階可変散布。
- ・専用スタンドでトラックへの積み下ろし一人で簡単設置。



凍結防止剤散布機

8 名古屋電機工業株式会社

住 所	〒490-1294 愛知県あま市篠田面徳 29-1
T E L	052-443-4723
F A X	052-443-1277
担当者名	吉田 智
担当部署	営業本部 IX 推進部 IX 推進課
E-mail	s_yoshida@nagoya-denki.co.jp
U R L	https://www.nagoya-denki.co.jp

事業内容紹介

気象・車輛センサーなどの計測装置、データ処理装置、道路・車輛搭載用の情報提供装置などITS道路情報提供システムの設計・施工から保守までワンストップサービス可能な専門メーカーとして 50 年の歴史を持っています。歴史の中で培われたノウハウにより厳しい自然環境での長期運用が可能な「信頼の製品とトータルシステム」を提供しています。

雪に強い製品開発で、 冬期の作業に安全・安心を届けます

出展内容紹介

- LED 散光式警光灯
- ・発光面に雪が付着しにくいデザイン
- ・長寿命LED点滅灯を採用・本体高さ90mmの超薄型
- ・用途に合わせてLED点滅パターンを選択可能
- 車載標識装置
- ・表示部ヒータ機能を搭載
- ・薄型LED散光式警光灯を搭載し空気抵抗を低減
- ・表示項目と散光式警光灯の点滅パターン連動により高い誘目性を発揮



発光面に雪が付着しにくいデザイン

9 範多機械株式会社

住 所	東京都板橋区三園1丁目50番15号
T E L	03-3979-4311
F A X	03-3979-4316
担当者名	諸橋 良二
担当部署	特販部
E-mail	r.morohashi@hantak.co.jp
U R L	www.hantak.co.jp

事業内容紹介

40年以上に渡り冬の過酷な道路状況での安全走行を支えるHANT A一般道用の散布車から高速道路用の大型散布車までどんな雪道にも対応する豊富なラインナップを取り揃えています。

先進の技術で冬期の道路を守る HANT Aの凍結防止剤散布車

出展内容紹介

ベルトコンベヤを採用し確実に安定した搬送量を実現した3 t級凍結防止剤散布車と寒冷地に適した汚泥吸引車を展示しております。

また、歩道除雪に新しく電動式除雪機「オ・スノー」と大好評の手押し式散布機「MS-01D」も展示しております。



10 日野自動車株式会社

住 所	〒191-8660 東京都日野市日野台 3-1-1
T E L	042-586-4362
F A X	042-586-4370
担当者名	宇田 佳史
担当部署	特装部
E-mail	yo.uda@hino.co.jp
U R L	http://www.hino.co.jp

事業内容紹介

日野自動車は商用車メーカーとして、地球環境との調和を図りながら安全で効率の良いトラック・バスをご提供しております。私たちはこれからも、世界中のお客様に、日野ならではの「価値」をお届けすることでグローバルな商用車メーカーとしての責任を果たしてまいります。

雪路に、この一台。

出展内容紹介

環境に配慮し、走行性能に優れたトラックづくりは除雪車においても日野自動車の使命です。

雪上で頼もしい駆動力を発揮する日野レンジャーは、クリーンディーゼルシステム「エアループ」を採用し、世界で最も厳しい水準の「ポスト新長期排出ガス規制」に適合。さらに、安全性・快適性などを見直し、そのトータルな完成度を高めています。

11 矢野口自工株式会社

住 所	〒143-0002 東京都大田区城南島 4-5-8
T E L	03-3799-0770
F A X	03-3799-5757
担当者名	我妻 和郎
担当部署	営業部
E-mail	info@yanokuchi.com
U R L	http://www.yanokuchi.com

事業内容紹介

矢野口自工は：
・1953年創業、東京都に現存するもっとも長い歴史を誇る整備工場です。
・常に、次の世代に求められる新しい車両の開発に取り組んできました。
・これからも必要とされる特殊車両の研究・開発に努めてまいります。

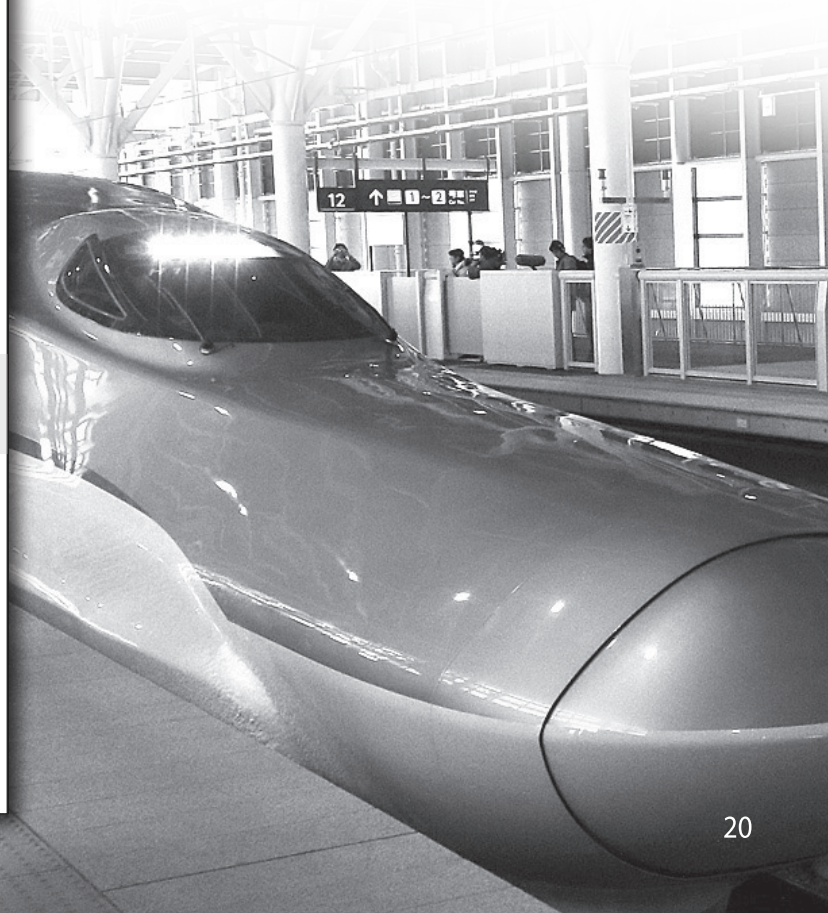
ドイツ・ラドック社からの輸入車 ～アタッチメントを交換できる多機能車～

出展内容紹介

ラドック車は：
・1920年ドイツ南部の都市で、産声を上げました。
・ヨーロッパ各地で、多くの実績を積みできました。
・小型ながら、頑丈で力持ち
・視認性も良く、低速(600m/時)で、安全に作業ができます。
・車巾は1.5mと狭く、歩道の上も除雪ができます。
・アタッチメントを交換することで、さまざまな



作業が可能です。「凍結防止剤散布」「除草」「路面清掃」など、四季を通して活躍します。



同時開催

函館 美鈴珈琲

函館 美鈴珈琲

出展内容紹介

昭和7年創業の美鈴珈琲は本年で85年目を迎える函館の老舗コーヒー店です。生豆を地元函館の焙煎工場で焙煎されたコーヒー豆はいつも新鮮で香りとコクの深い味わいが特徴です。

創業当時から市民の皆様に愛され、更に美味しいコーヒーを皆様に味わって頂きたくこれからも研究に励んでおります。本日、ご用意させて頂きましたコーヒーは香り・コクはもちろん芳醇な甘みと豊かなフルーティーさが特徴のあるコーヒーです。

美鈴コーナーにお寄りの際はぜひ美味しいコーヒーをお飲み下さい。



創業時の美鈴→

新函館名物がごめ昆布商品の販売

函館がごめ連合ねばねば本舗

出展内容紹介

新函館名物として近年注目を浴びている「ごめ昆布」商品を販売致します。

ねばりが強く、美容と健康に大変良い成分が豊富に含まれています。

伝統的な「とろろ昆布」「おぼろ昆布」だけでなく様々な加工食品が製造されています。また化粧品や石鹸などの美容分野へも応用されています。

今回は人気商品を中心になるべく多くの種類の商品を展示販売したいと考えております。

是非、この機会に函館土産としてお買い求め頂ければと思います。



Welcome! シーニックバイウェイ北海道2017冬@ふゆトピア

シーニックバイウェイ北海道推進協議会

出展内容紹介

毎年、季節毎に札幌駅前通地下歩行空間にて「シーニックバイウェイ北海道」のPR活動を行っています。今年の冬は、2017ふゆトピア・フェアin函館とのコラボでPR活動を行います。

ふゆトピア・フェア参加者のほか、一般市民の方など多くの方々に「シーニックバイウェイ北海道」を知っていただく機会として皆様の来場をお待ちしております。

道内14地域の「美しい道」や「地域の想いがつまった活動」をタバスト

リーで紹介する他、シーニックバイウェイ北海道の活動等を紹介する映像等をゆったり鑑賞するスペースや各地域の魅力を紹介するパンフレット類も充実しています。毎回人気の「顔はめパネル」コーナーでは、あなたも函館新道の花植え活動を体験した気分になれるかもしれません。

目玉は、4地域・6出展者(函館、木古内、釧路、札幌)が参加するシーニックバイウェイ関連のグッズを販売するコーナーです。この日、ここできが買えない貴重な商品にきっと出会えるはずです。

是非、お立ち寄りいただき、「シーニックバイウェイ北海道」を体感してください!

函館市観光情報

函館市

出展内容紹介

開催地函館市の観光情報をお届けします。

函館市は異国情緒あふれる街並みや豊かな自然、新鮮な海の幸など多くの魅力があるまちです。ブランド総合研究所が行った「地域ブランド調査」全国で最も魅力的な市区町村部門で3年連続第1位!

昨年3月に開業した北海道新幹線ですますアクセスも便利になりました。今の時期は函館山からの夜景も澄み渡った空気で輝きを増し、さらに見応えがあります。冬の函館市の魅力をご堪能ください。



函館山からの夜景



金森赤レンガ倉庫

「立山あおぐ特等席。富山市」

富山県富山市

出展内容紹介

富山市は3,000m級の雄大な北アルプス・立山連峰から水深1,000mの「天然のいけす」富山湾に面し、水と緑に恵まれた自然豊かな都市です。

世界有数の山岳観光ルートである「立山黒部アルペンルート」の玄関口として、市内から仰ぎ見る立山連峰の絶景は、訪れる方々を魅了してくれます。

自然の恵みを受けた本市の食は、肥沃な大地が育んだお米と富山湾の宝石「白えび」や「ホタルイカ」などをつかった「寿司」など、魅力にあふれています。

次期開催市!



同時開催

HANDS + EYES パネル展土木コレクション

公益社団法人土木学会北海道支部

出展内容紹介

公益社団法人土木学会は、全国各地において「土木コレクション HANDS+EYES」パネル展を実施しております。この機会に土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを市民の皆様にご実感いただくことを目的に、土木界が保有する歴史的資料、土木施設等の図面など、普段目にすることができない各種コレクションの中から、ふゆトピア開催地の函館にちなんだ歴史的施設を展示、公開いたします。



〈今回展示施設〉

① 函館水道事業 ② 函館港湾事業 ③ 青函トンネル

北海道新幹線・道南いさりび鉄道パネル展

北海道(渡島総合振興局)・道南いさりび鉄道(株)

出展内容紹介

〈北海道新幹線〉

道民が長年待ち望んでいた「北海道新幹線」が2016(平成28)年3月26日、ついに開業し、これまでに前年在来線に比べ約2倍近くのお客様に利用されています。北海道の新函館北斗から青森県の新青森までほぼ1時間、岩手県の盛岡までが1時間50分、宮城県の仙台までが2時間30分、東京までが約4時間です。この機会に是非貴方も、近くなった東北へ、その先へ、北海道新幹線でGO! 【展示】ポスター、パネル、北海道新幹線H5系模型

〈道南いさりび鉄道〉

「道南いさりび鉄道」は、北海道新幹線と同日開業した函館市五稜郭から木古内町を結ぶ地域の鉄道です。特別仕様の地域情報発信列車「ながまれ号」は観光列車としても運行していますので、地元愛でふれる道南いさりび鉄道に、是非ご乗車ください!! 【展示】ポスター、パネル、ながまれ号模型 【販売】いさりび鉄道グッズ

※併設: <世界遺産登録を目指す縄文遺跡群> 【展示】土偶レプリカ

北陸雪害対策技術センターパネル展

国土交通省北陸地方整備局

出展内容紹介

北陸地方整備局では「38豪雪」を契機に本格的な雪害対策に取り組み、除雪延長の拡大や防雪施設整備、除雪機械の改良、路面凍結対策を推進してきたところです。

一方近年、集中降雪による走行環境の悪化、渋滞や通行止めによる、日常生活・社会経済活動へ与える影響はより拡大しています。

これらの課題に対応するため平成25年7月「北陸雪害対策技術センター」を設置し、雪害に関する防災・減災対策の取組を推進しています。



「イランカラプテ」キャンペーン パネル展

国土交通省北海道開発局

出展内容紹介

「イランカラプテ」キャンペーンとは、アイヌやアイヌ文化に対する国民の理解を促進するための施策の一環として、ハワイの「アロハ」、沖縄の「メンソーレ」のようにアイヌ語の挨拶「イランカラプテ」(こんにちは)を、北海道のおもてなしのキーワードとして普及させることを目指し、民学官の連携により展開しているキャンペーンです。

北海道開発局もこのキャンペーンを推進しており、ここでは、アイヌの文化や歴史を紹介するパネルを展示いたします。



「平成28年8月北海道を襲った大雨災害」パネル展

国土交通省 北海道開発局

出展内容紹介

平成28年夏に、北海道に連続して上陸・接近した4つの台風は、道東地域を中心に記録的な大雨をもたらし、河川の氾濫による堤防の決壊、橋梁損傷や法面崩壊による国道の通行止め等が発生し、北海道にとってこれまでにない甚大な被害となりました。

北海道開発局では、復旧工事やリエゾン、TEC-FORCEの派遣による自治体等の支援などの取組を行ったほか、現在でも復旧に向けて全力で取り組んでいるところです。

本パネル展では、全道各地で起きた被災の状況や復旧に向けた様々な取組を紹介します。



[主催] 2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会



国土交通省北海道開発局



北海道



函館市



一般社団法人 日本建設機械施工協会



公益社団法人 雪センター



一般財団法人 北海道河川財団



一般社団法人 北海道開発技術センター



一般財団法人 北海道道路管理技術センター



一般財団法人 北海道建設技術センター



一般社団法人 北海道建設業協会



一般社団法人 函館建設業協会



東日本高速道路株式会社 北海道支社



国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所

[後援]

総務省、文部科学省、北海道経済産業局、北海道運輸局、気象庁札幌管区気象台、(一財)日本気象協会、(一財)北海道開発協会、公益財団法人はまなす財団、(一社)寒地港湾技術研究センター、(一社)北海道土地改良設計技術協会、(一社)北海道土地改良建設協会、ウインターライフ推進協議会、(一社)シーニックバイウエイ支援センター、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国積雪寒冷地帯振興協議会、全国雪寒都市対策協議会、北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、(公社)北海道観光振興機構、函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会、(公社)土木学会北海道支部、(公社)日本雪氷学会、日本雪工学会、(一社)日本機械学会、(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(公社)農業農村工学会、JR北海道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)セコマ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)日本政策投資銀行、(株)北洋銀行、朝日新聞北海道支社、毎日新聞、読売新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、共同通信社、時事通信社、産経新聞社札幌支局、北海道新聞社、函館新聞社、北海道建設新聞社、北海道通信社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、NHK函館放送局、HBC、STV札幌テレビ放送、HTB、UHB、TVh、NCV函館センター、AIR-G'エフエム北海道、FM NORTH WAVE、函館山ロープウェイ(株)FMいるか、(株)あるた出版

【お問合せ】

2017ふゆトピア・フェアin函館 実行委員会事務局(国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発調整課内)

☎011-709-2311 FAX 011-709-9215 ✉hkd-ky-huyutopia2017@mlit.go.jp

ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chosei/fuyutopia/top_hakodate.html

ふゆトピア函館

検索

